

[基本教育科目/人間力の養成]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
チームワークとリーダーシップ	NLA12_002	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松本 純也	教員控室	j.matsumoto	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	若者のコミュニケーション力の不足を嘆く声は分野を越えて聞くことができる。それを主因として新卒者の既存チームへの順応やリーダーシップの発揮を困難にしている。チームワークとリーダーシップでは、体験をとおしてグループ中での役割を認識し、共同目的を達成するために必要な能力を養成するとともに、進んで目的を設定し確実に行動する態度や自発的・自律的に課題に取り組む姿勢を涵養することを目的とする。具体的には集団の理解とその中での人間関係の力学を学び、リーダーの責任、メンバーとしての役割、コミュニケーションのあり方等協働・協調を図りながら問題を解決するための基礎的な知識と方法論を学習する。				
学習上の助言	授業に関する質問は授業終了時に受け付ける。積極的に質問して理解を深めて欲しい。また、体得したスキルを日常でも活用できるように積極的に行動し、将来に生かしてほしい。				
教科書	教科書は指定しない。「必要に応じてプリントを配布する」				
参考書	特になし。				
① 多彩なコミュニケーションスキルを理解できる。			関連卒業認定・学位授与方針		
② 目的と課題を的確に認識し、チームに貢献できる取り組み姿勢を意識できる。			HSU(4) NS(1)(2)		
③ リーダーとメンバーのあり方を理解できる。			HSU(4) NS(1)(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の概要・説明・個人票)	同時双方向型授業	シラバスを確認し、授業内容を把握する。授業のねらい等		
2	学ぶ技術について、(効果的な学習法)	同時双方向型授業	振り返りを行い、学習のポイントの明確化とやるべき事を確認する。		
3	これまでの身の回りを振り返り、他者の気持ちと自分の対応について考えてみる。	同時双方向型授業	これまでを振り返り、他者の気持ちや伝えたかったことを考える。		
4	チームワーク体験演習① リーダーシップに必要な能力について学習する。	同時双方向型授業	自分の想像するリーダー像を挙げる。(他者との比較や意見を交換する)		
5	チームワーク体験演習② リーダーシップの変遷について学習する。	同時双方向型授業	リーダーに求められるものについて整理しポイントを明確にする。		
6	チームワーク体験演習③ リーダーシップに必要な能力について学習する。	同時双方向型授業	リーダーシップの重要性についてポイントを明確にする。		
7	チームワーク体験演習④ チーム作りと基本的な考え方について学習する。	同時双方向型授業	チーム・リーダー・メンバーに必要なもの。求められる姿勢について整理する。		
8	リーダーシップ演習① 求められる姿勢について学習する。	同時双方向型授業	精神と思考の動きかた、マインドセットについて学習する。		
9	リーダーシップ演習② サーバントリーダーシップについて学習する。	同時双方向型授業	特性について学び、自分との比較から学習する。		
10	コミュニケーション演習① チーム機能と成長段階について学習する。	同時双方向型授業	チームビルディングについて学び、機能・成長段階について学習する。		
11	コミュニケーション演習② 信頼関係の構築について学習する。	同時双方向型授業	信頼関係の構築について整理し、ポイントを明確にする。		
12	コミュニケーション演習③ コミュニケーションの必要性について学習する。	同時双方向型授業	体験学習サイクル、毒素、傾聴等について学習する。		
13	コミュニケーション演習④ 身近にある問題を取り上げ、対処方法を学習する。	同時双方向型授業	様々な状況を考慮し、多様な意見から対処方法を考える。		
14	リーダーシップ演習②偉人に見るリーダーシップについて学習する。	同時双方向型授業	演習での体験について整理し、学習したポイントを明確にする。		
15	これまでの学習ポイントの総括とフィードバック	同時双方向型授業	1回・15回のノートを整理し、学習したポイントを明確にする。		
試	達成度評価、評価のポイント参照				

[基本教育科目/人間力の養成]

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	45	35	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	5	5	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	15	5	0	0	20
	発表・表現伝達する力	0	5	10	0	0	15
	コミュニケーション力	0	10	10	0	10	30
	取組みの姿勢・意欲	0	10	5	0	10	25
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
レポート	①	✓	各時間の中で課題や振り返りを行う。 各授業での課題、提出物への記入内容を確認し、学習のポイントを掴んでいるかを確認する。				課題やノートを含む提出物の返却と学習のポイントを解説する。
	②	✓					
	③	✓					
成果発表	①	✓	日常生活の振り返りの中から、気付いたことを挙げる。(ワークを行う中で他者からの意見や助言を活かし、自己の今後に繋げる。)				活動の中での発表に対し解説する。
	②	✓					
	③	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①	✓	受講時の取り組み姿勢 (積極的に学習に参加し、課題や質問に対して自分の意見や感想を述べるができるか等)				授業時の各自の良い行動を周知するとともに解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
備 考							
<p>実践的授業の内容: Teams等のメディアを活用し、動画などを視聴させて学習させるとともに、フィードバックと意見交換の場を設ける。課題や印刷教材その他これに準ずる教材を送付して学習させる遠隔授業。</p> <p>大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を遵守すること。 Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWifi環境を推奨します。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る旨を記載してください。</p>							